

AGUDAA-V-フィリピン2008 (8.12~8.16)

小学校におけるフッ化物洗口事業

<前号142号(H.P.)掲載記事>

場 所：フィリピン ケソン市、サンビセンテ小学校

参加者：〔日本側〕加藤一夫、中澤 晃、前澤亮子、八木昭大〔アサヒレントゲン〕、亀山正道
〔フィリピン側〕成田由美、ニール、サンデー・ウィ、ダーウィン・リム、クレメンテ

8月12日（火）

セントレアからフィリピン航空で予定通りマニラに向かった。今回は総領事館の寄付許可の書類をつけて入国、この書類ですんなり通過すると予想していたが、あにはからんや、スムーズには通過させてくれない。書類を見せるも、「箱を開けろ」というカッターナイフでざくりとテープを切っていく。中には当然、歯ブラシの束、歯ブラシを確認。書類を見て、フィリピンからの財務省の書類がっていない、「税金を払いなさい」という。理解に苦しむ、日本のフィリピン領事館からの許可書である。「あなたの名前は？」と聞くと、書類を持って「書類の真偽を確かめる」と言って何処へ行った。そして、帰ってくるなり「次からは、必ず、ファイナンスの書類をつけて来るように」と通過してもよしい。というのである。完璧に整えて来たつもりであったが、喉にトゲが刺さったような心境で空港を後にした。懐かしい街である、やはり日本と違い若い人が多く活気がある。ホテルまで、迎えに来たトラベラーが運んでくれた。

8月13日（水）

サンビセンテ小学校に9時前についた。学校の校庭には大きな雨覆いが作られていた。寄付で作られたもののようで大きく名前を記入しているところであった。6名のUE大学の学生が援助してくれた。今日一日で4年生の健診を行う予定である。14、15日は試験が

あるので、1日しか余裕がない。明るさ、風通しの関係で廊下に設営した健診場所。途中で、イベントの都合で試験延期になった事が知らされた。時間の余裕はありそうだ。4年生は517名、9クラスの数である。先生の指導で順に集まってくるがすぐに蜂が集まったような騒ぎになる、それを何度も大きな声で制する担任の先生も大変である。それ以上に、健診者が記録者に伝える声を張り上げなければならない。午後からは、校庭でブラスバンド、太鼓、木琴の練習が始まった。あまりうまいとはいえない。現代曲を演奏しているのかなとさえ思う、お世辞にも褒められない。BGM風に演奏してくれればはかどった事だろう。

口腔内の環境はやはり相当なものだ、充填治療を受けている子を探すのには相当苦勞するほど、カリエスで何本も抜歯されたのではないかと疑われる児童も散見できる。何といっても臼歯部のカリエスは壊滅状態の児童が沢山いる。日本では明らかなネグレクトではあるが、当地区は貧困のため経済的理由で治療を受けられない子どもたちである。所変わればというが、ネグレクトには違いないが、全児童がその範疇にはいる、定義が難しい。年齢は、教育程度でまちまちで中には12歳位の子も混じっている。日本のように一律ではない点も異国の地ならではの。欠損、カリエスのために不正咬合になっている子どもも多く見られ、チョット手を加えてあげれば正

常な噛み合わせになるだろうファンクショナルタイプの不正咬合の子どもも実に多い。症例の宝庫とは、この地域の子どもたちであろう。大きなカリエスを抱えて生活している子どもたちはさぞや我慢強いのではないだろうか。う蝕の洪水、日本で過去に見られた口腔内、歯科医師として何ができるだろうか、やらねばならないのだろうかという頭の中をよぎっていく。お土産の日本製、食べ物、乗り物、動物など形取った消しゴムは大変人気があった。教師も欲しいと請求があった。欠席の何人かを残して一日の健診を終了した。

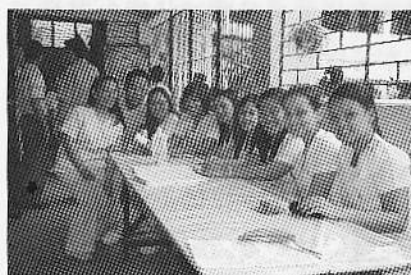
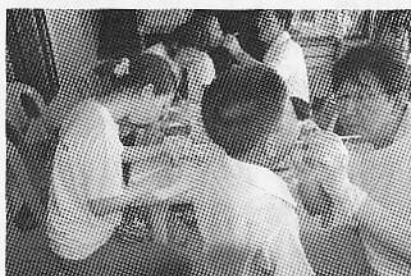
3000千本の歯ブラシを子どもたちへのプレゼントに提供した。午後からの演奏は少しマシになってきたものの熱が入ってくるせいか、健診者泣かせの格闘となった。

8月14日（木）

今日は、昨日の欠席者の健診とフッ化物洗口を進めるにあたっての養護、担任への、午前、午後の2回の説明の予定である。10時30

分からの説明に合わせ、9時30分に小学校到着、そして準備に取りかかった。子どもたちが元気よく、声をかけてくれる。うれしいコミュニケーションだ。こちらにはフィリピン時間というものがあり、人にもよるが大抵は約束の時間に遅れることが多い。理由は交通渋滞による事が多いに関係しているが、暑い国の特徴でもあるのだろうか。担任のタイムレコーダーはあるようだが、授業は時間どおりに行っているのだろうか。74名の教師がいて3千名を超える児童数でもある。先生の数少ないようだが11時過ぎに説明が始まった。昨日の欠席者も多く、今日の健診者も数が多く列をなしている。

午前、午後の部の児童の入れ替え時は、本当にびっくりするほどの数である。説明も順調に進み、健診者も終了14時30分、その後、フィリピン国立大学のコピーセンターへ健診票のコピーに出かけた。何軒も連なっており、専属のコピーマンがいて多くの本をコピーしている。1枚数円という安さ。本がなかなか



手に入らないところから、本を丸ごとコピーしているようだ。著作権など全くない。日本では見られない姿である。なかなかこの大学には入学難しいという。一つの街以上の広さを持つキャンパスの敷地の環境はすばらしい。

8月15日（金）

今日は、来年5月に無料診療を行う場所の視察に出かけた。マニャ市から1～2時間の所にある貧民街、漁業を営むという海上生活をしている人たちである。0m地帯、高床式の小屋に寝泊まりしている、潮が満ちると時々床上浸水になりつつもそこで生活している人たちである。嵐には地上のある方へ避難するそうであるが、潮の満ち引きで1週に2、3回と避難することもあるという。たくましい生きる力を備えた人たちだ。

最近、魚が思ったように捕れないように生活が厳しいと話していた。その高床で豚の飼育も隣り合わせに暮らしている。人はどんなところにでも生活できる証を証明している。

近くにある小学校・幼稚園は、まあまあの環境である。小学校は2400名ほど、この地域の住民を対象に考えたコーディネーターは、前市長の娘である。地域の活性に尽力を尽くしているパワーウーマンでバイテリターがあり人望があるようだ。

夕方には、毎日降る雨とともに雷雨がやってくる。すさまじい勢いで雨は落ちてくる。熱帯特有の雨で、スクールで、あっという間にやってくる、自転車に客用のシートが着いたトライスクルは定番だが、敏感に察知して雨よけのホローをおろす姿が多くなった。帰り時である、巻き込まれると冠水にて道路があふれ渋滞になることが常の道路事情である。7時のアポで歯学部長のデイ先生と会う約束で先に着いたが、8時頃にやって来た。フィリピン時間を体得しないとこの国ではやっていけない。交換留学スタッフの話も段取りよく進んだが、学生の応援の話、診療に関しての行政側の難色の話、フッ化物の効果の理解に関してはやや後ろ向きの考えさえ感じられ



る。保守的なのか、定年前の保持のスタイルなのか判断が付きにくい。もう少しつつこんだ話も必要なのかもしれない。若い人の参加と今後のあり方をも模索しつつ前進すべきプロジェクトとして挑戦する共通理解として持っていたいと思いつつホテルに帰った。

8月16日（土）

ホテルを9時30分に出発。に向かう。土曜の休みのせいか車が少なく快適な空港までのドライブであった。旅行社の誘導でスムーズに手続きは済んだ。荷物検査の所で、拳銃を持ったセキユリテーが「俺にまかしとけ」と意味不明の言である。何のことかこちらは理解できない。X線を通すところでポケットのものをすべて出せと通常通り検査であった。

その後、その警官が着いてこいと手招きするのである、バックの中身は何かと聞くので「コンピューター」と答えると「OK, OK」と今度はパスポートを持って着いて来いというのである。何処へ行くのか訝しげ着いていくと、トイレである、おかしいなと思いつつそこで、ゆすりであることをはっきり理解できた。手を下の方でお金を出せというような合図である。パスポートの引き替えに100ペソは損ではないと判断、ましてや片手に拳銃を添えているのは、恐怖心を煽る、やむなく交換した。悔しさと公然とそんな事がまかり通るのかと思いつつ、遠巻きに誰に訴えれば

よいのか周りを探したが、安全と思える人、場所さえ見つからない。遠巻きに観察すると同じ手口で、日本人と見られる人を相手に何人もかもにしているのである。しかも周囲の人たちは関係者も見ぬふりなのである。そういえば、掃除係の人にも妙に怪しい、組織ぐるみの犯罪を公然としていることに咄然として見過ごすことになった。下手な動きは逆にとられる、国に帰れなく恐れさえある、ここは別の手段で訴えようと堅く決心した。飛行機に乗ってから日本語の理解する客室乗務員に事の成りゆきを説明、入国の時のトラブルについても意見を求めた。

対策としては、フィリピンエアからの入国に関する治安について意見書を出すことを約束した。

その後、総領事館に問い合わせ対応を考慮してもらうことだ。善良な市民を公然の場で恐怖に落とすのは国の威厳にも関わろう、航空機サイド、旅行者からの申し入れ、領事館からの申し入れで何かの動きはでるのではないか、組織的な犯罪であればそんな甘いものではないかもしれないが、事実を公表するマスコミの手も借りる必要があるかもしれない。外務省の安全相談にも連絡を入れた。せめて公共の面前で白昼堂々と違法行為が行われるのは誰であっても許されない行為である。出入国に際してのトラブルが今回が良い教訓となって今後、活かされることを期待したい。